

2006年3月期 第1四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2005年8月3日

TOYOTA

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆日本、北アメリカ、ヨーロッパおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
 - ◆為替相場の変動、特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル及びイギリス・ポンドの相場変動
 - ◆経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率および向上と設備投資を実施するトヨタの能力
 - ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特に貿易、環境保全、自動車排ガス、燃費効率、安全性の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
 - ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
 - ◆タイムリーに新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
 - ◆トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中継されたり、困難である状況
- 以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(証券取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびED-NET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

TOYOTA

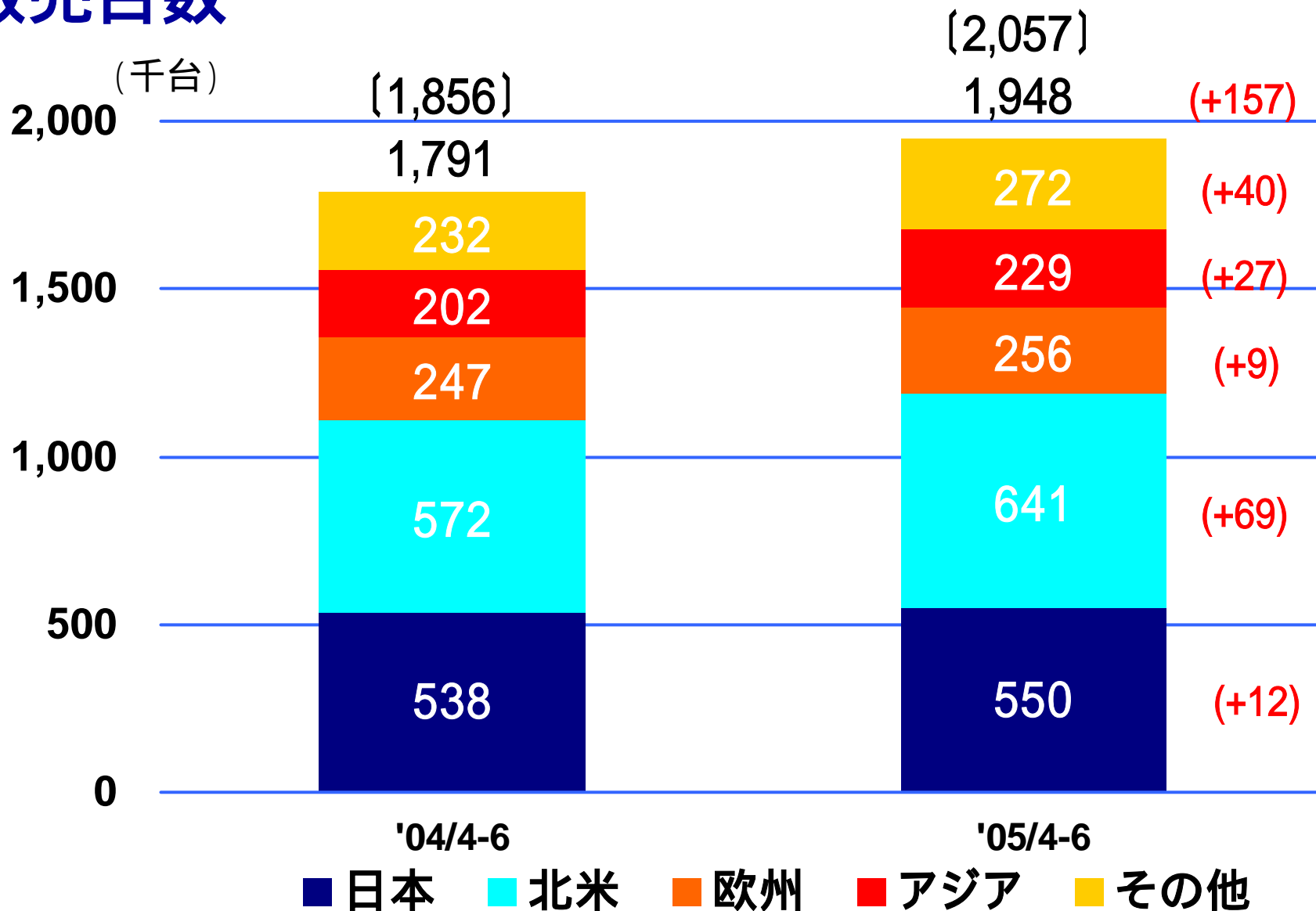
常 務 役 員

畑 隆 司

連結決算要約

	当第1四半期 (05/4-6)	前年同期 (04/4-6)	増減	
	億円	億円	億円	%
売上高	49,817	45,103	4,714	10.5
営業利益	4,051	4,486	435	9.7
税金等調整前 当期純利益	4,218	4,704	486	10.3
当期純利益	2,668	2,866	198	6.9
為替レートの	108円/ドル	110円/ドル	2円の円高	
	135円/1-円	132円/1-円	3円の円安	

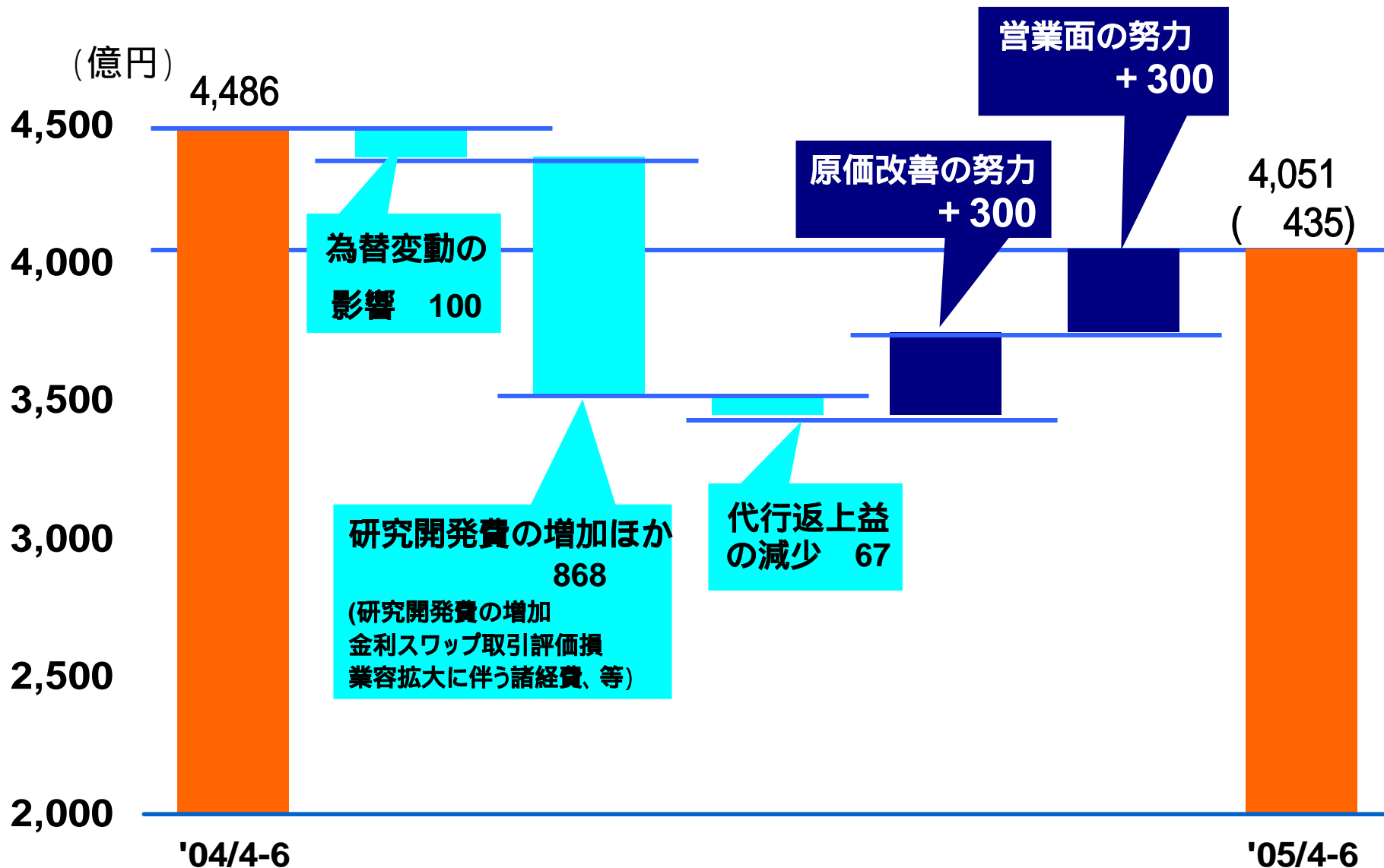
販売台数



TOYOTA

()内はトヨタ/レクサス、ダイハツ、日野ブランドの総小売販売台数

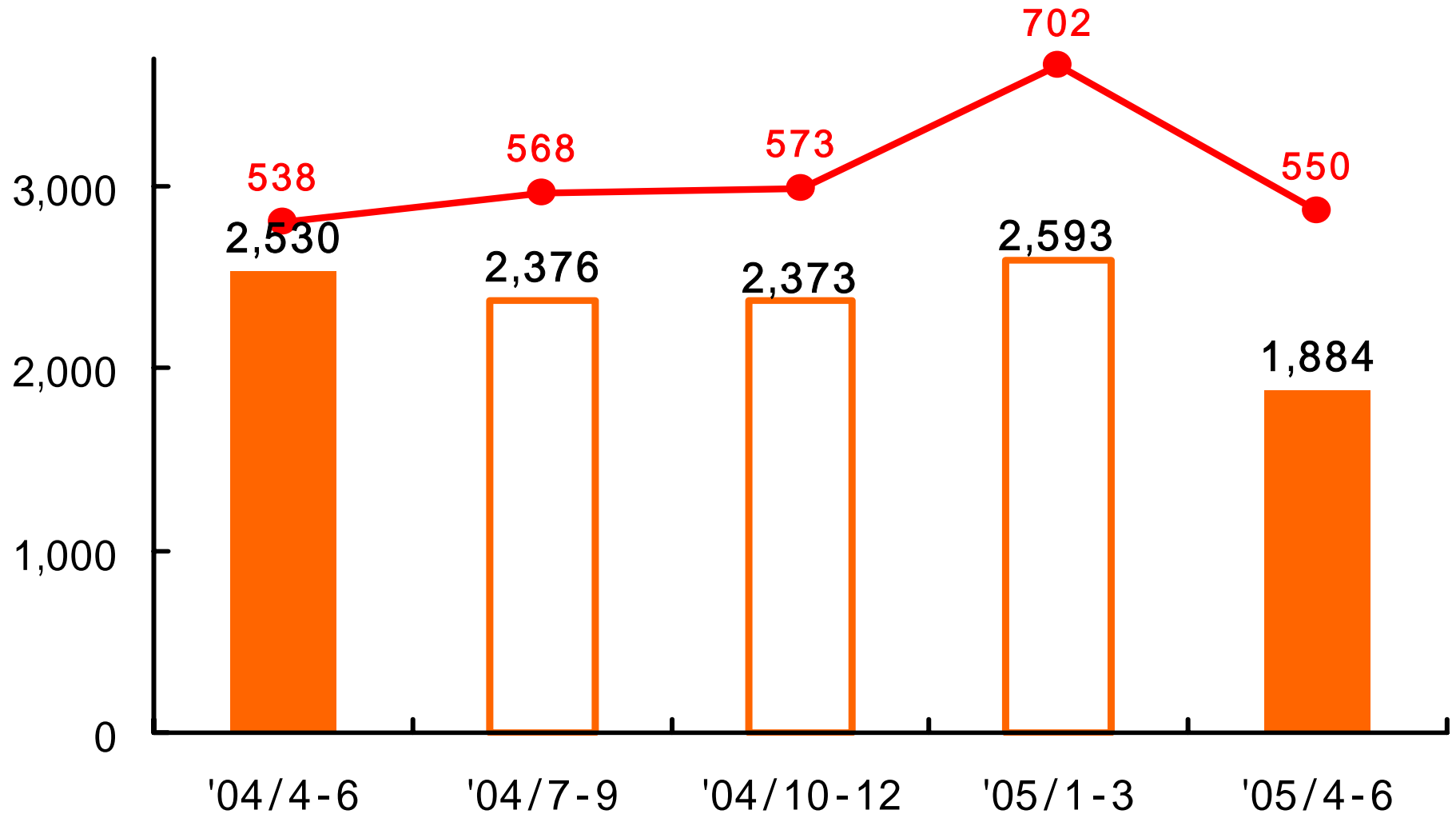
営業利益増減要因



TOYOTA

所在地別営業利益：日本

コンパクト車へのシフト



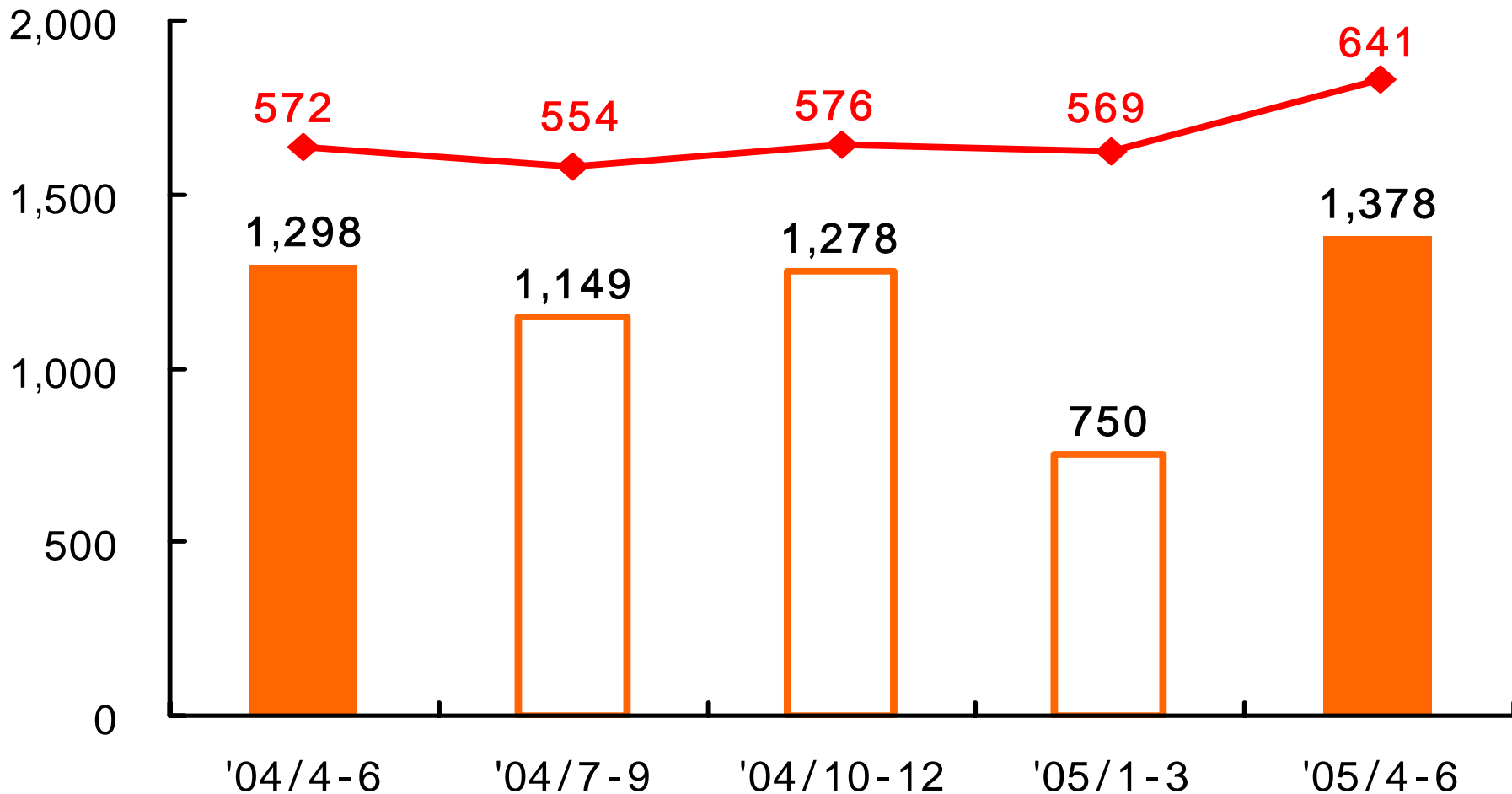
TOYOTA

営業利益 (億円) 連結販売台数 (千台)

所在地別営業利益:北米

バランスの良い販売

(億円)

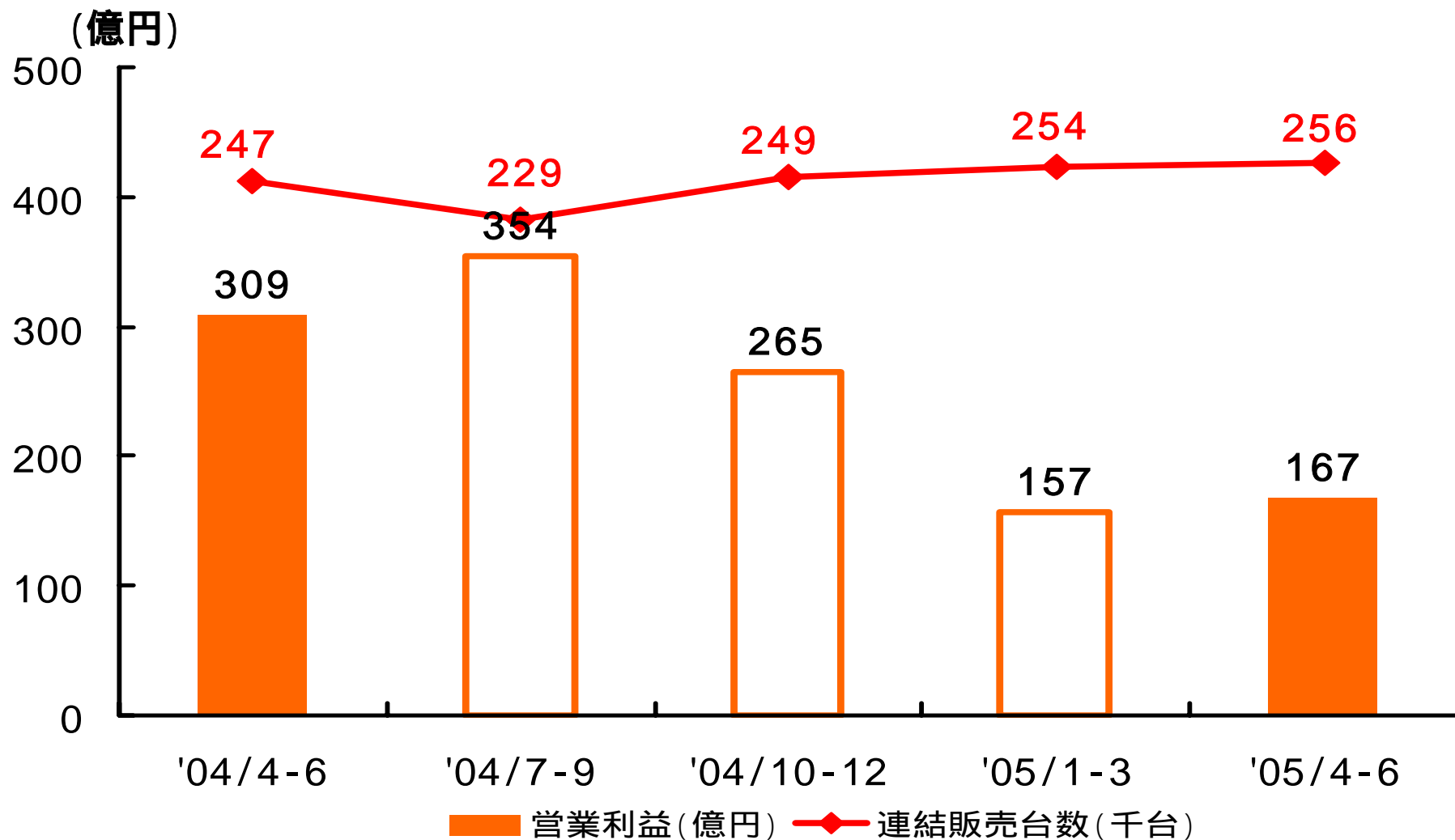


TOYOTA

営業利益(億円) 連結販売台数(千台)

所在地別営業利益：欧州

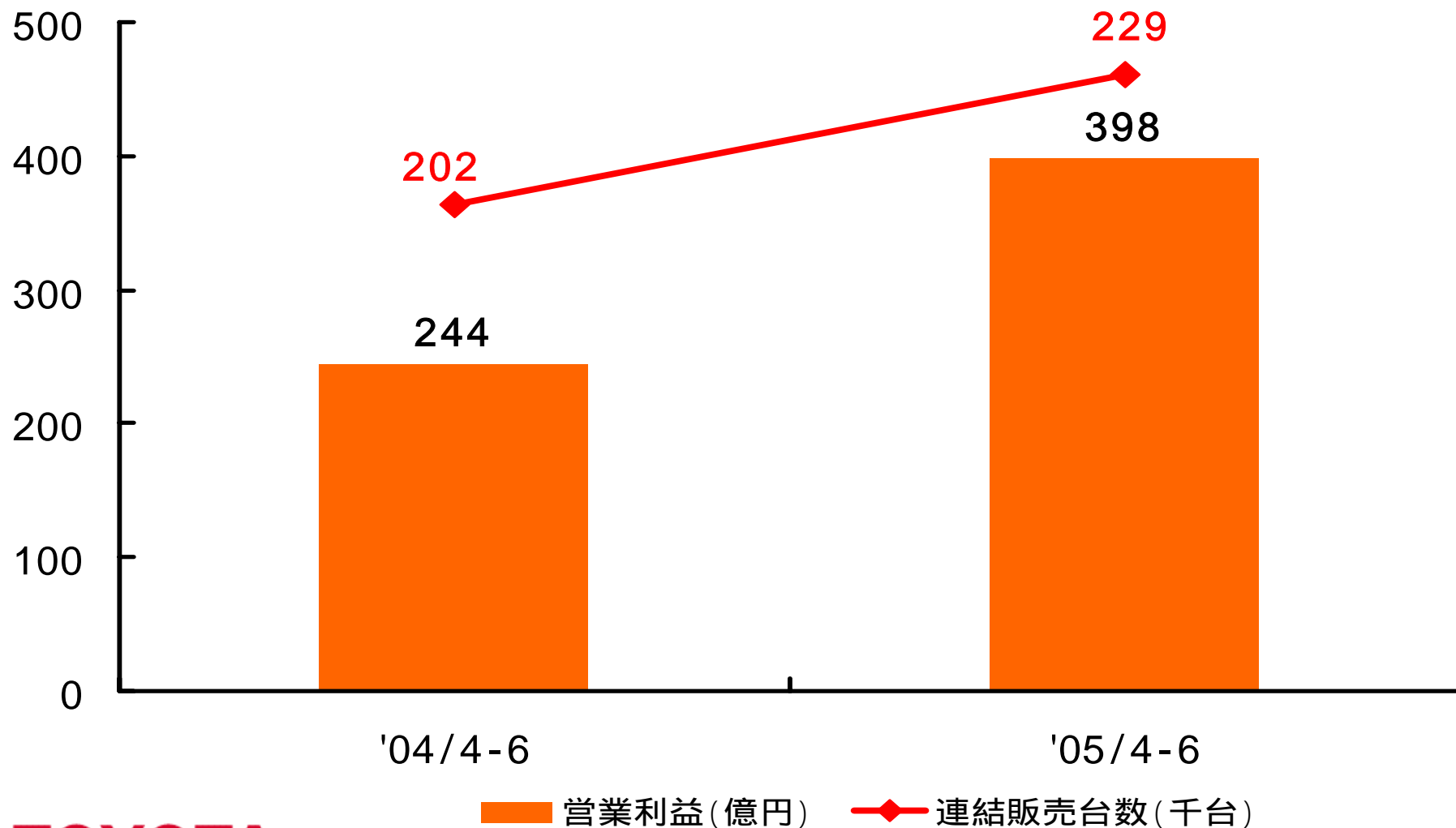
ブランド確立に向けた投資



所在地別営業利益: アジア

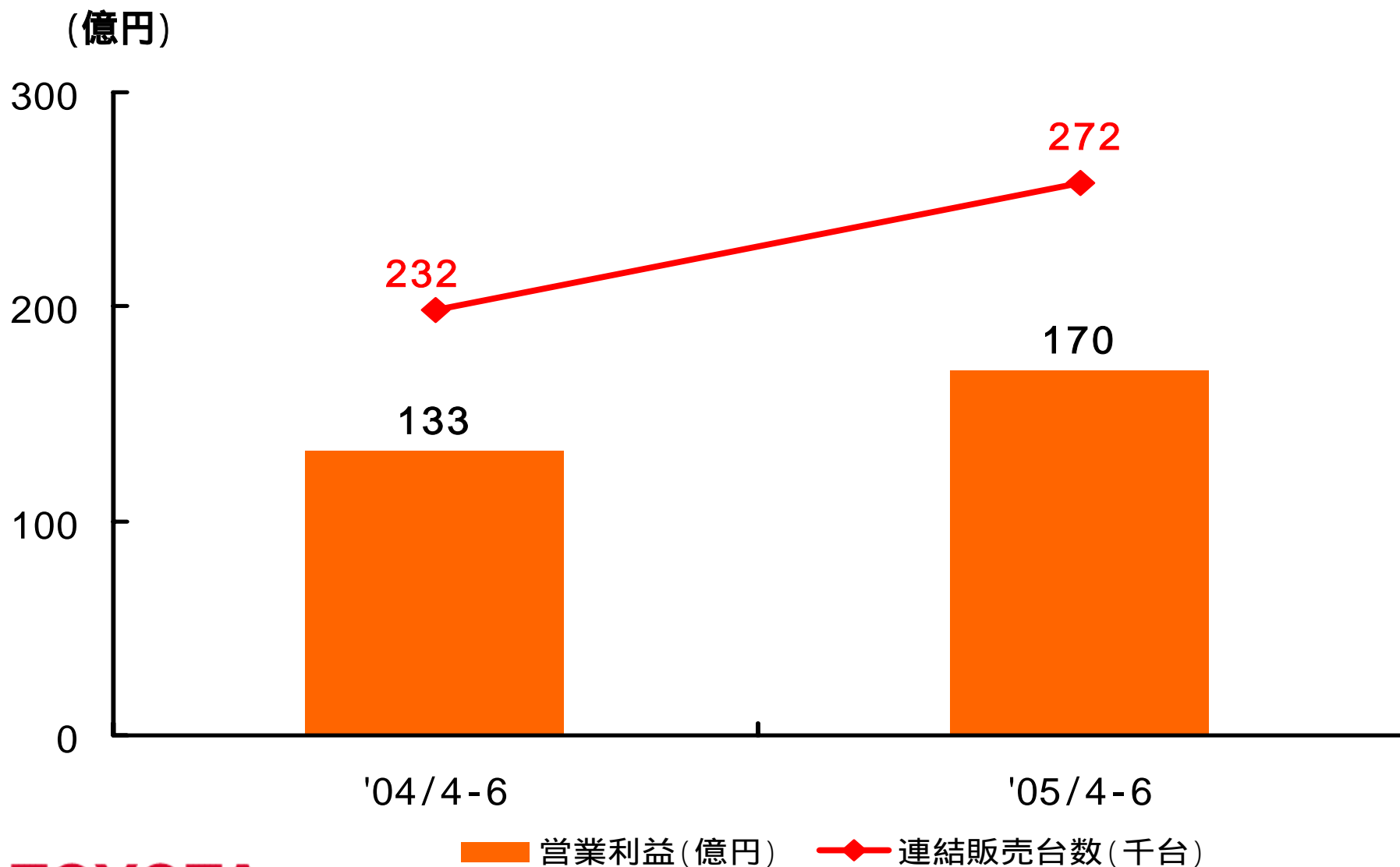
IMVにより大幅増益

(億円)



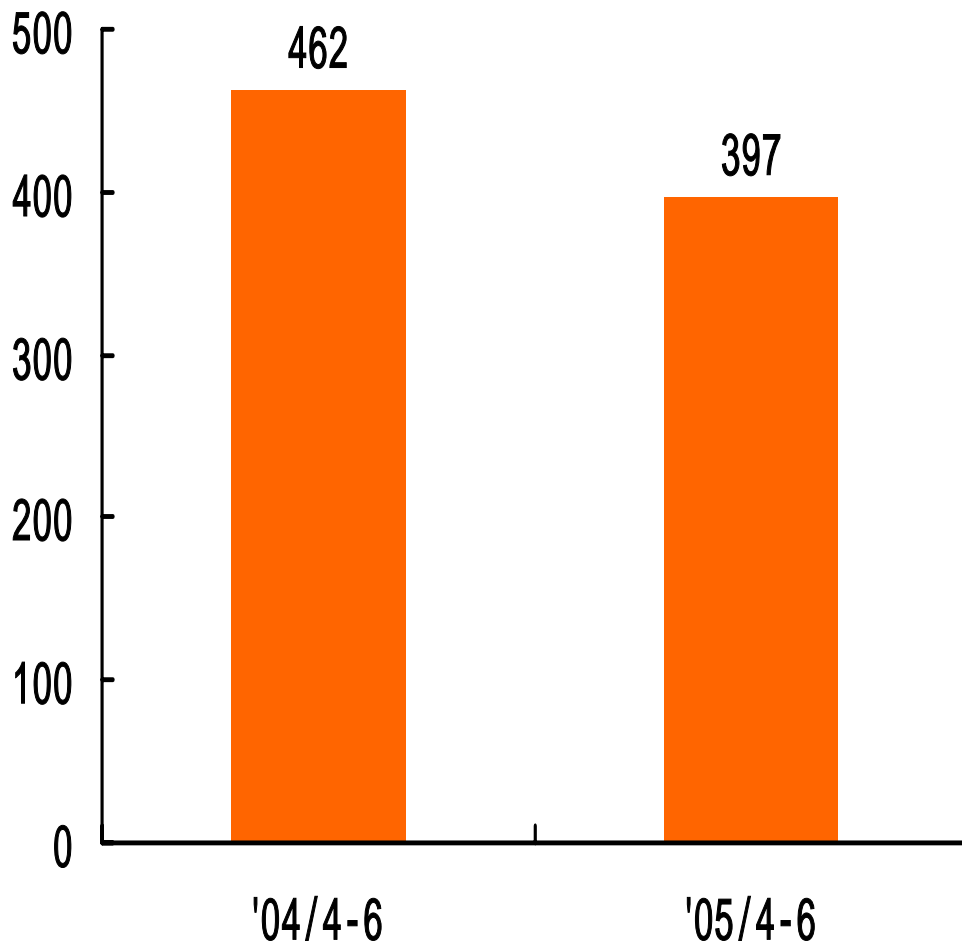
TOYOTA

所在地別営業利益:その他地域(アフリカ・中南米など)



事業別セグメント: 金融

スワップ取引評価損を除いて増益基調



米国の販売金融子会社の
金利スワップ取引などの評価損益
の影響

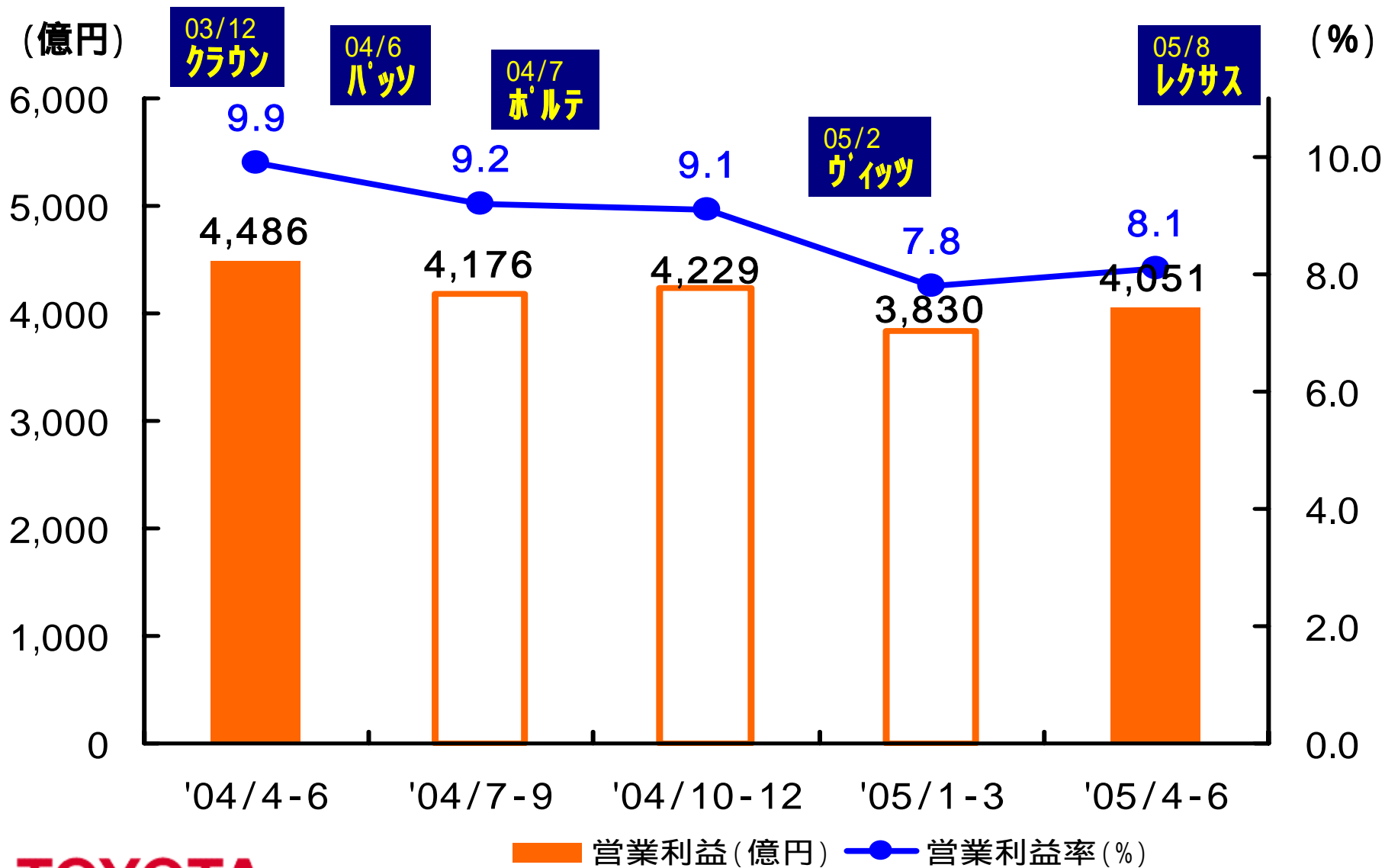
-101億円

(05/6 -19億円 04/6 82億)

融資残高の増加ほか

+36億円

四半期営業利益の推移と新車投入サイクル

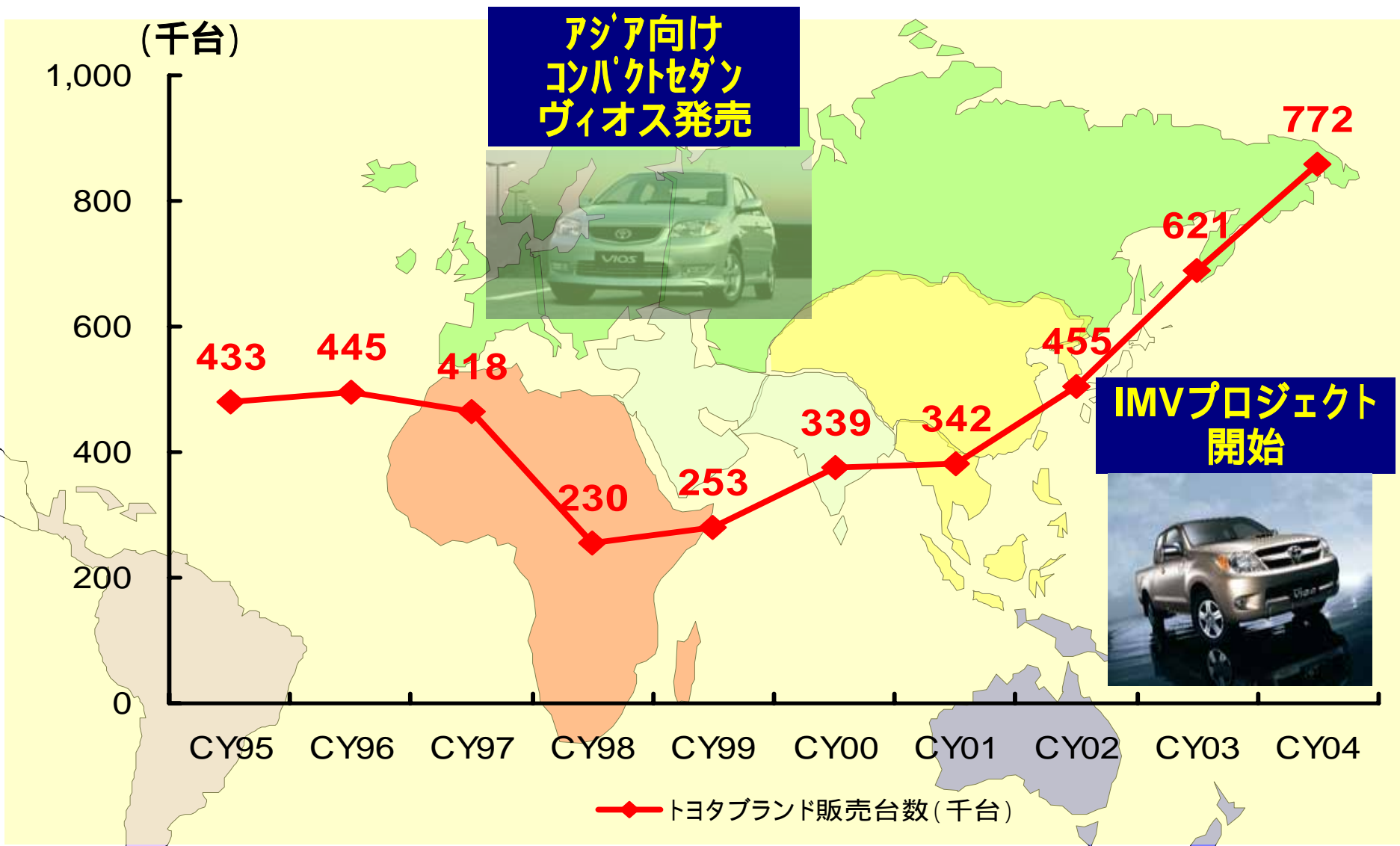


TOYOTA

グローバルな基盤作り : 積極的な投資計画

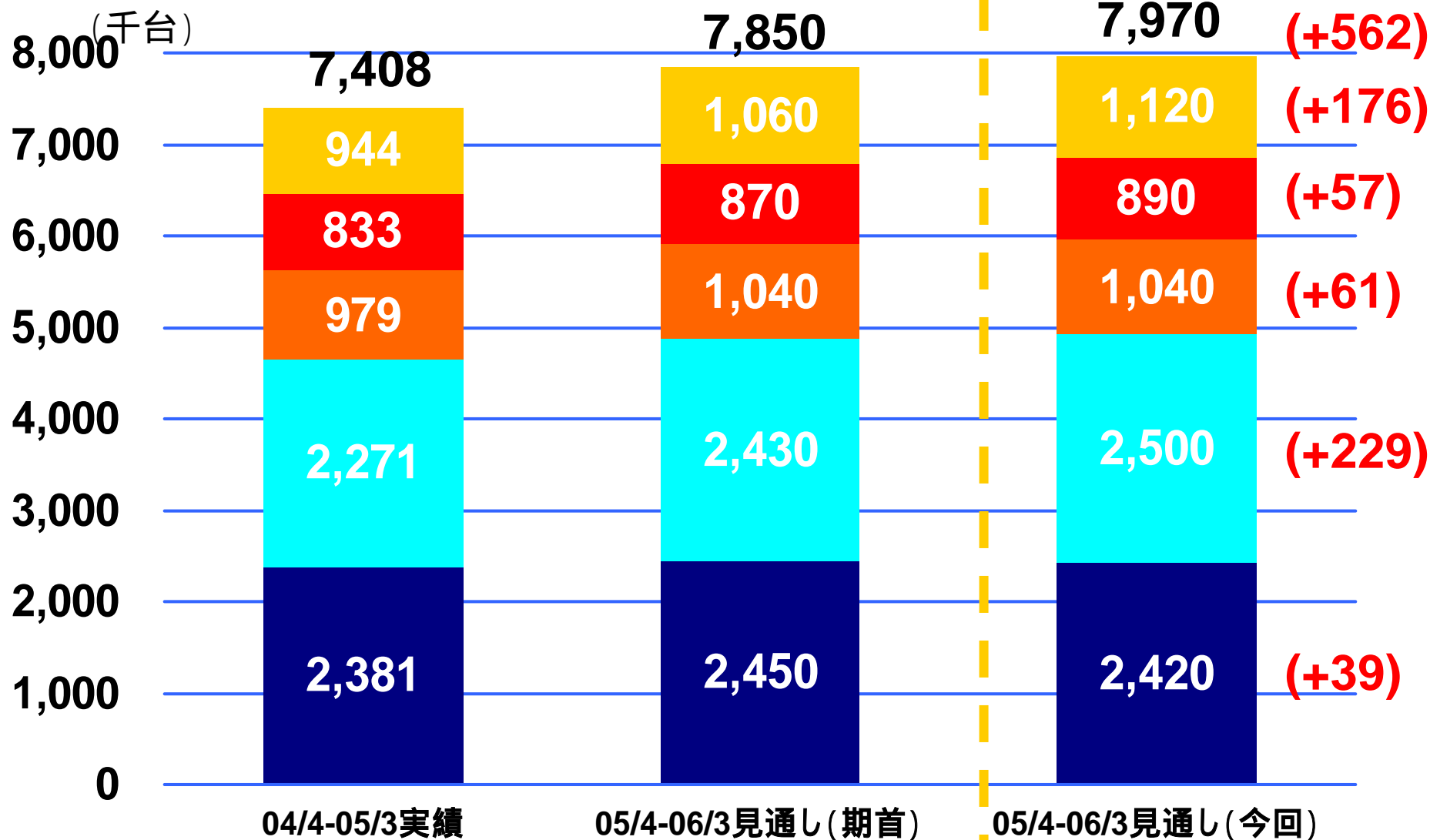
	04年	05年	06年	07年	08年
日本		九州 20万台 岩手 10万台			
北米	メキシコ 3万台		テキサス 20万台		カナダ 10万台
欧州	トルコ・フランス 能増 +8万台	TPCA 10万台 イギリス 能増 +6.5万台		ロシア 5万台	
中国		天津第2 10万台	広州 10万台		
アジア その他			タイ 能増 +9万台	タイ第3 10万台	

アジア地域の成長 : 投資が着実に収益に貢献



TOYOTA

通期見通し: 連結販売台数



TOYOTA

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ アジア ■ その他

()内は05/3実績からの増減

台数等の見通し(トヨタ・レクサスブランド)

		当期見通し (05/4-06/3)	前期実績 (04/4-05/3)
生産	国内	3,840 千台	3,749 千台
	海外	3,770	3,127
国内販売		1,830	1,804
輸出		2,050	1,982
海外現地販売		5,660	5,044
住宅		4,500 戸	4,392 戸

2006年3月期 第1四半期決算説明会



トヨタ自動車株式会社
2005年8月3日